

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 26. 6. 5 第 186 回国会第 7 号

6 月 5 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人） 東京大学大学院工学系研究科教授

前福島県知事

福島県南相馬市長

東京大学公共政策大学院特任准教授

岡 本 孝 司 君

佐 藤 榮 佐 久 君

桜 井 勝 延 君

松 浦 正 浩 君

（質疑者及び主な質疑内容）

吉 野 正 芳 君（自民）

- ・原子力に対する問題意識を有する佐藤参考人が、東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故の発災に関してどのような思いを抱いているか伺いたい。
- ・福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想について、南相馬市はどのように取り組んでいく考えか、桜井参考人の所見を伺いたい。

生 方 幸 夫 君（民主）

- ・原子力問題について、どのように議論を行えば合意形成がなされるのか、その手掛かりについて松浦参考人の所見を伺いたい。
- ・廃炉や使用済核燃料等に関する専門家育成の進展状況について、岡本参考人の所見を伺いたい。

山 内 康 一 君（みんな）

- ・事業者との関係が指摘されている者の原子力規制委員会委員への任命の是非について、岡本参考人の見解を伺いたい。
- ・安倍政権における原子力発電所の輸出や再稼働に向けた動きについて、佐藤参考人及び桜井参考人の所感を伺いたい。

小 熊 慎 司 君（維新）

- ・かつて佐藤参考人は福島第一原発事故の原因について人災であると指摘していたがその理由を伺いたい。
- ・福島第一原発事故対策について、安倍総理は国が前面に出て行うとしていたが、国がどう責任を持ってなすべきか、佐藤参考人が考える具体的な方策を伺いたい。

中 野 洋 昌 君（公明）

- ・現在の原子力規制行政に原発事故の際のリスクを下げる総合的な視点が欠けているとの意見の具体的意味について、岡本参考人に伺いたい。また、原子力規制組織としての独立性を保ちつつ現場に精通した人材を育成するための方策について、岡本参考人に伺いたい。
- ・福島第一原発事故での避難経験を踏まえ、避難計画策定に活かすべき留意点についての桜井参考人の見解を伺いたい。

椎 名 毅 君（結い）

- ・原発のリスクの見える化のため定量的な評価の導入に当たって何が現時点で不足していると考えるか、岡本参考人の見解を伺いたい。
- ・原子力に関する科学的情報への不信感がある中で、原発再稼働に当たっての地域住民の合意形成はどのようにあるべきか、松浦参考人の見解を伺いたい。

笠 井 亮 君（共産）

- ・国が南相馬市内を福島第一原発から 20 キロ圏、30 キロ圏で線引きした結果、どのような影響が出ているのか、桜井参考人に伺いたい。
- ・関西電力大飯原子力発電所 3、4 号機の差止請求を認めた福井地裁判決（平成 26 年 5 月 21 日）及び原子力を重要なベースロード電源と位置付けた「エネルギー基本計画」（平成 26 年 4 月 11 日閣議決定）に対する佐藤参考人及び桜井参考人の評価を伺いたい。

畑 浩 治 君（生活）

- ・発電用原子炉の新規制基準は、原発事故が発生した後

の対応等の面で不十分であると考え、同基準についての岡本参考人及び桜井参考人の評価を伺いたい。

- ・使用済核燃料の再処理コストを含めた原子力発電のコストについて、岡本参考人及び佐藤参考人の評価を伺いたい。